

授 業 目 名	言語聴覚障害診断学演習Ⅱ	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	熊田 華恵	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>高次脳機能障害や構音障害等の言語聴覚士が関わる障害についての適切な検査方法の選択、評価、解釈について学習する。 臨床実習におけるデイリーレポートなどの書き方を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>複数のケーススタディを通して必要なアセスメントから治療プログラムの立案までを行う。 臨床実習に必要なレポート作成が可能になることを目指す。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	オリエンテーション		
第 2 回	スクリーニング検査		
第 3 回	スクリーニング検査作成		
第 4 回	スクリーニング検査作成		
第 5 回	詳細な検査の選択1		
第 6 回	詳細な検査の選択2		
第 7 回	デイリーレポートの書き方		
第 8 回	デイリーレポート作成1		
第 9 回	デイリーレポート作成2		
第 10 回	デイリーレポート作成3		
第 11 回	デイリーレポート作成4		
第 12 回	OSCE		
第 13 回	OSCE		
第 14 回	OSCE		
第 15 回	OSCE		
評 価 方 法	レポート課題50%及び実技50%にて評価します。		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 随時、必要な参考資料を配付する。		
履 修 上 の 留 意 点	レポート提出期限は厳守。		
メ ッ セ ー ジ	長期実習や今後の臨床に向けた実践的な授業です。		